



☎0967-62-0110  
通報・相談 110

飲酒運転の根絶  
飲酒運転をしない・  
させない・許さない

これから飲酒の機会が増える年末にかけて飲酒運転による事故の多発が懸念されます。

一人一人が、飲酒運転をしない・させない行動をとりますよう。

●酒類を提供する飲食店では「ハンドルキーパー運動」に取り組みましょう。

●事業者の方は、運転者に対する交通安全教育や運転前後に飲酒の有無を確認しましょう。

●ご家族など周りの方も、前夜に飲酒した人から酒臭がしないかなどに注意し、送迎や公共交通機関利用に進んで協力しましょう。

自転車も飲酒運転は  
できません！

また、年末年始は帰省や各種イベントにより交通の流れが質・量ともに変化するなど交通事故に繋がりがやすい特有の状況となります。安全運転に心がけ事故を起こさないようにしましょう。

◆スピードを控えた運転を

●通り慣れた道でも、急な飛び出しなどにも対応できるように、スピードを控えて運転しましょう。

●夜間はもちろん、夕方や早朝は特に速度を落としましょう。

◆被害軽減対策

●シートベルトとチャイルドシートの全席着用を習慣づけることも

●夕暮れ時、ライトは早めに点灯しましょう。

◆交通安全用品(装置)の活用

●歩行者は反射材を身につけるとともに、明るい服装を心がけましょう。

●積雪などに備えてチェーン等の滑り止め装置を早めに準備しておきましょう。

◆高速道路の安全利用

●必ず燃料とタイヤの空気圧、車から落下するような物が無いかチェックしておきましょう。

消防南部分署



☎0967-62-9034  
火災・救急 119

なんでも  
南部分署

これから火災が多くなる季節です！

この季節、暖房器具など火を使う機会がとて多くなります。併せて火災も増加傾向にあります。乾燥してくる季節ですので、火の取り扱いには十分に注意してください。

令和5年(1月~12月)『火災原因』

- 1位 タバコ
- 2位 焚火
- 3位 コンロ ※全国統計

この3つの他にもストーブなど冬場特有の火災が多くなっています。

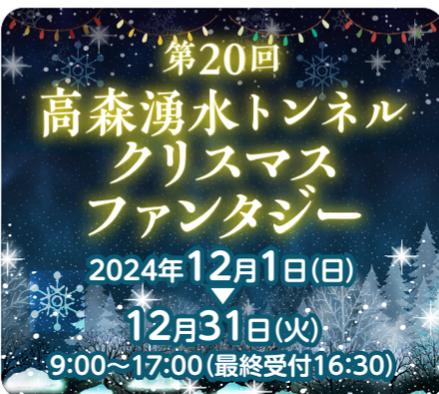
火事の恐ろしさは、家や財産だけでなく、生命まで奪い去ること。

この言葉を忘れず残り少ない2024年もお気をつけてお過ごしください。

最後に…

火災・救急・救助・まずは「119」番通報をお願いします！

119番通報されると、あなたのいる場所が確認しやすくなります。



### 人にやさしいまちの実現に向けて～互いの人権を尊重し、支え合うことから～ — 今年の「12月10日」を迎えるにあたって —



#### ◆「世界人権デー」から「人権の世紀」へ

今年も、12月10日の「世界人権デー」がやってきます。1948年のこの日、フランス・パリで「世界人権宣言」が採択されたのを記念して設けられました。更に、それから約半世紀を経た2001年、政府機関をはじめ当時の新聞やテレビは、しきりに「21世紀は人権の世紀」と紹介していました。これらの記念日や言葉の背景には、「20世紀に二度にわたる世界大戦を引き起こした経験が無駄にせず、全人類の幸せが実現する時代にしたい」という人々の願いが込められていました。しかし、現実はどうでしょう。世界を見渡すと、地球上の各地で争いごとが起きており、とりわけ多くの子どもたちを含む社会的弱者の命や人権が奪われています。

私たちは、世界で起きている人権問題にもっと目を向けていく必要があります。

#### ◆もう一つの「12月10日」

10月、明るいニュースが飛び込んできました。ノルウェーのノーベル賞委員会は、今年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)に授与すると発表しました。「長年、被爆の実相を世界に発信し、核兵器のない世界の実現を訴え続けてきた努力が評価された」ということが主な授賞理由です。

私は、今回のニュースから、学生時代に山口で出会った被爆者の方々

のことを思い出しました。当時、私は、「被爆体験の継承」を活動の柱にして取り組むサークルに入部し、広島や長崎で被爆された県内在住の方々との交流を深めていました。そのような中、山口県被団協の関連施設と連携しながら被爆者の方への聞き取りを行い、体験集「語り」の編集・発刊に携わることができました。これは、私にとって貴重な学びとなりました。

その中で、よくご自宅に招いていただいた富田さん(仮名:当時56歳)のお言葉が今でも忘れられません。「ええかね、二度と戦争が起こることがないように、これからはあんたらが背負うていかにやらんよ。もう、あんな地獄みたいな思いは二度としとうないね。なんぼ貧乏してもいいから平和がええよ。…」

世界では、被爆者の思いを無視するかのよう激しい紛争が各地で起こり泥沼化しています。さらに核兵器保有国においては、その使用をちらつかせる発言さえ聞かれます。このように国際社会が深刻な事態に陥る中、今回の受賞はとて意義深いものと考えます。

ノーベル平和賞の授賞式は、日を同じくして、ノーベルの命日である12月10日にノルウェーのオスロで行われます。



被爆者体験集「語り」